

1. 題目

大きなモミの木

2. 対象もしくは対象の状態（数値等）

胸高直径 $\phi=2.0\text{m}$ （斜面下側）、 $\phi 1.3\text{m}$ （斜面上部）、樹高 $h=30\text{m}$ （推定）

3. 場所

大田市大森町 熊谷家（史跡） 向い

4. オモシロそうな理由

世界遺産石見銀山の太森地区にある古木であり、寛政の大火（1800年）でも焼け残ったといわれています。樹齢は不明ですが、私は太森の歴史から推定すると400年前後ではないかと考えています。そのうえ、このモミの木を最上段として雛壇のように段差地形が残っており、信仰の対象としてまつられていたと思われる地形が残っているところも面白いところです。残念ながら、地元の方に聞いたところ、特に信仰の対象となっていたとは聞いていないとのことでした。

石見銀山の歴史唯一の生き証人として生きながらえてきたこのモミの木。一見の価値ありです。

（注意）このモミの木は民地に生えているため、根元には立ち入りの承諾が必要となります。

5. 応募者

小村徹 建設部門（道路）

コスモ建設コンサルタント

6. 備考

日本一？

- ・兵庫県篠山市丹南町大山宮 「千年モミ」の幹周り7.8m 樹高34m 推定樹齢1000年
- ・高知県西土佐村「新玉様のモミ」幹回り7.9m 樹高27m 樹齢900年



井戸神社下側から望む



ひときわ目立つモミの木
(周囲の孟宗竹も巨大だか・・・)



